

気象ブリーフィングシート

v.2.3 (2016.2.10)

予報日：2016/2/12

予報種別： 出発前予報

前日予報

飛行日：2016/2/13

機体：さきがけ-C4309

飛行場所：北海道標津郡とある町

機体種別：固定翼

運航時間帯：朝～夕方

運航者：内山庄一郎

飛行目的：自然観測（とある地形）

概況

天気概況

平成28年2月12日16時37分 釧路地方气象台発表

釧路・根室・十勝地方では、引き続き12日夜のはじめ頃まで高波に注意してください。

北海道付近は、高気圧が東に遠ざかり、13日は気圧の谷が通過する見込みです。

12日15時の釧路・根室・十勝地方の天気は、曇りとなっています。

12日夜から13日にかけて曇りで、十勝地方では所により13日朝から雨か雪の見込みです。

海の波の高さは、12日夜は3メートルと高くのち2.5メートル、13日は2.5メートルのち1.5メートルとやや高く、共にうねりを伴うでしょう。

なお、根室地方では、流水に注意してください。

(以上 JMA)

地域予報

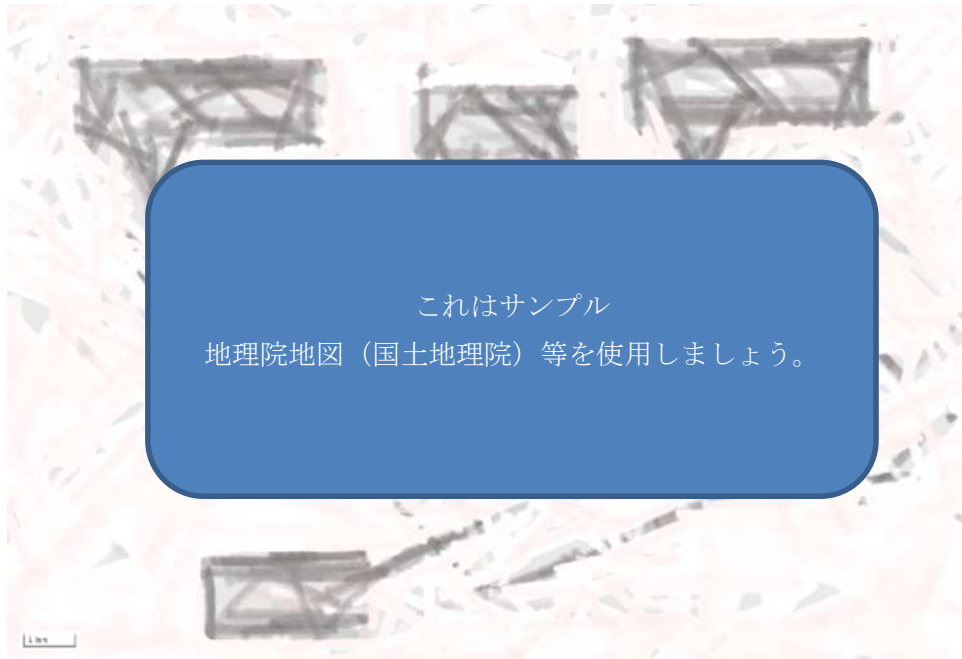
日付	時刻	天気	気温 (°C)	風向	風速 (m/s)	降水量 (mm/h)	降水確率 (%)	湿度 (%)	地点	提供
2/13	6:00	晴れ	-2.2	西南西	3	0	0	78	中標津	JWA
2/13	9:00	晴れ	2.7	西南西	3	0	0	64	中標津	JWA
2/13	12:00	晴れ	8.9	南西	4	0	0	64	中標津	JWA
2/13	15:00	晴れ	6.8	南西	3	0	10	80	中標津	JWA
2/13	18:00	晴れ	3.1	南西	2	0	10	98	中標津	JWA

局地気象
<p>地形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛行対地高度：150 m ・ 飛行海拔高度：250 – 400 m ・ 地上海拔高度：100 – 250 m ・ 地形場：平地 ・ 斜面の向き：—
<p>風</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般風 500hPa 偏西風と地上風の相互作用による強い西よりの風に警戒するが、運航が不可能な程度の強風にはならないであろう。 ・ 局地風 一般風が卓越しており、海風の影響は小さいと推定される。
<p>霧・降水・雲量</p> <p>湿度が高いが気温が氷点下であり、午前9時までの気温上昇も大きいため、霧の発生は無いが、あるいは短時間で解消する。</p> <p>サハリン付近にある低気圧から延びる寒冷前線が南方にずれた場合を考慮する。西方に対流性の雲が見えた場合は降水を警戒する。降水があっても一時的であろう。</p> <p>暖湿気の上昇流域に位置するが、全天を覆う雲量にはならない見込み。</p>

総評
<p>飛行の可否： 可 ・ <u>条件つき可</u> ・ 不可</p>
<p>機体の運航限界を超える気象条件にはならない。</p> <p>霧は短時間で解消する見込みのため、運航準備を怠らない。</p> <p>積雪環境の写真撮影に適した光環境であること確認する。</p> <p>西方の空に対流性の雲を警戒する。</p>

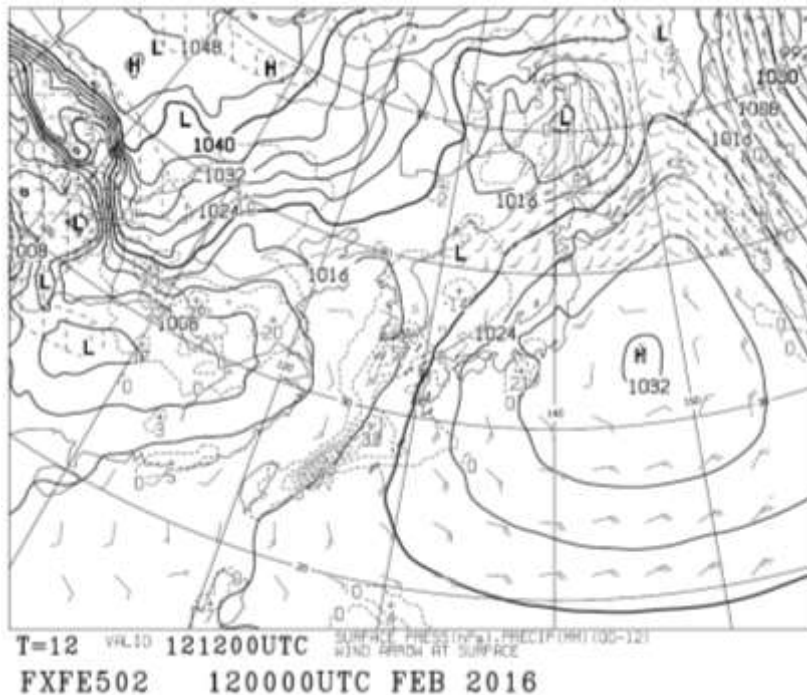
資料

飛行場所の地形図



地図の西側と東側の標高差は約 100 m。
北西に向かって緩やかに高くなる丘陵地だが、各サイト単体はほぼ平地とみなせる。

地上天気図（2016/2/12 21:00） 実線：地上気圧 [hPa]（4 hPa 毎）、破線：前 12 時間総降水量 [mm]（10 mm 毎）、矢羽根：地上風（旗：50 kt、長線：10 kt、短線：5 kt）

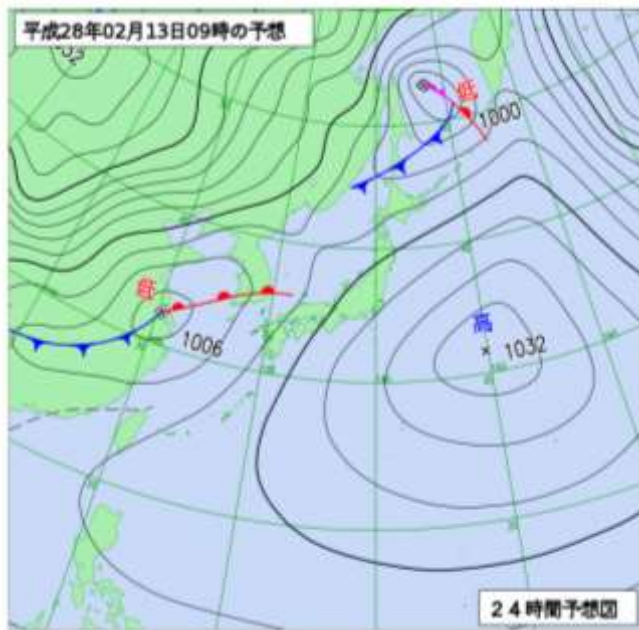


千葉県沖東側 600 km に高気圧あり。サハリン付近に発達中の低気圧あり。日本海海上にある低気圧は非常に小さい。とある町では南西風、等圧線の間隔が広いいため風が弱い。

JMA：気象庁、WNI：(株) ウェザーニューズ、JWA：(一財) 日本気象協会

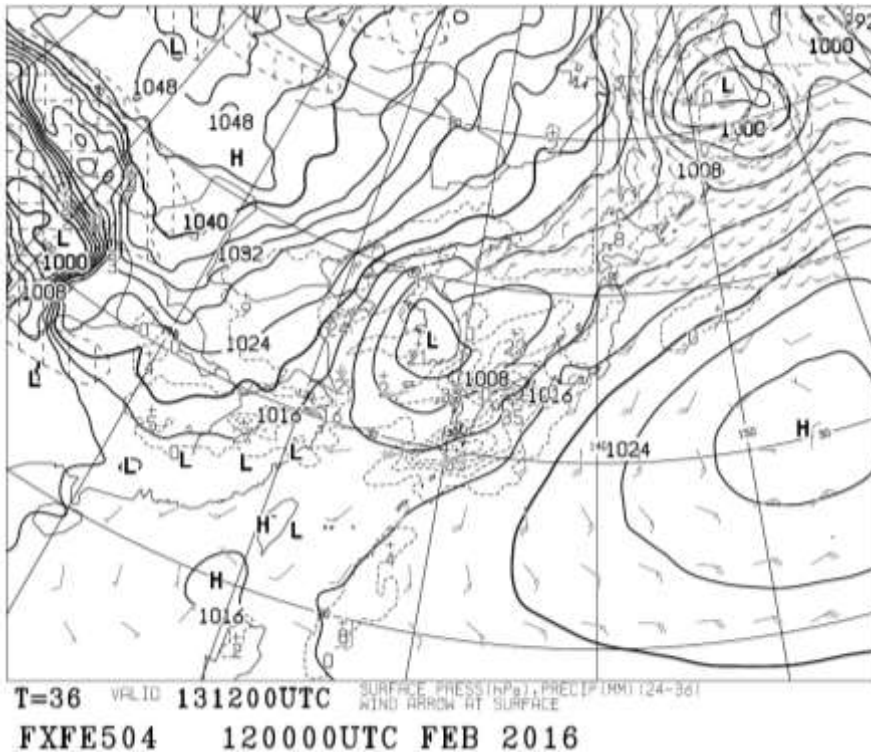
経度 1° = 約 111 km、850 hPa = 約 1500 m、700 hPa = 約 3000 m、500 hPa = 約 5500 m、菱網域：高標高域

地上天気図 (2016/2/13 09:00) 実線：地上気圧 [hPa] (4 hPa 毎)



高気圧の位置はわずかに東進。低気圧は閉塞前線を伴いより発達して北東へ進む。とある町付近はサハリン付近の低気圧から延びる寒冷前線の影響を受ける可能性がある。西の空の雲を観察し黒い雲に注意する。黄河河口に低気圧発生。

地上天気図 (2016/2/13 21:00) 実線：地上気圧 [hPa] (4 hPa 毎)、破線：前 12 時間総降水量 [mm] (10 mm 毎)、矢羽根：地上風 (旗：50 kt、長線：10 kt、短線：5 kt)

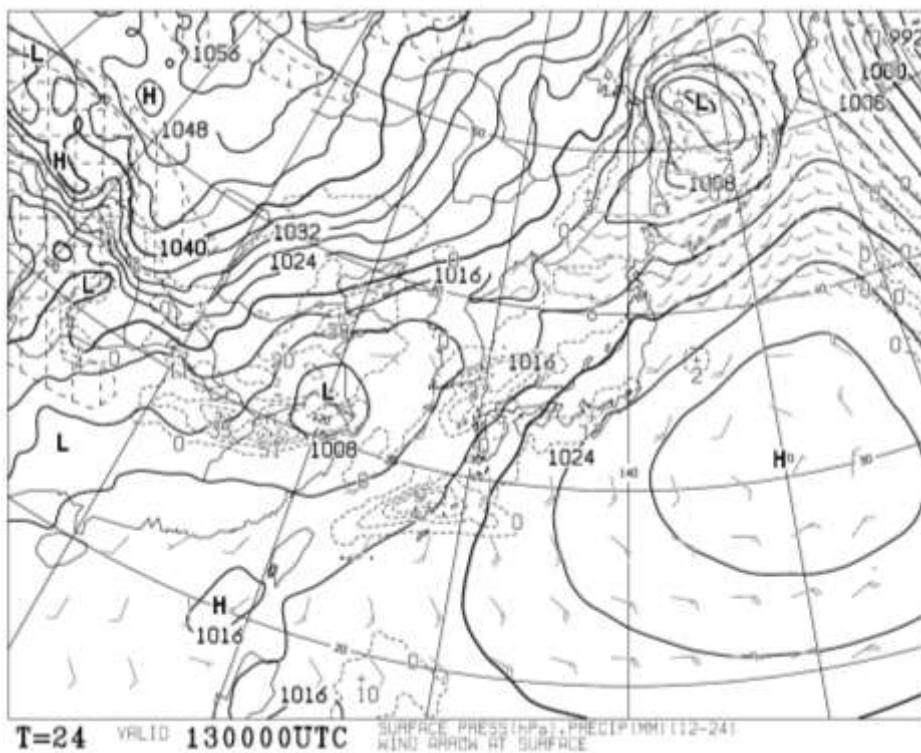
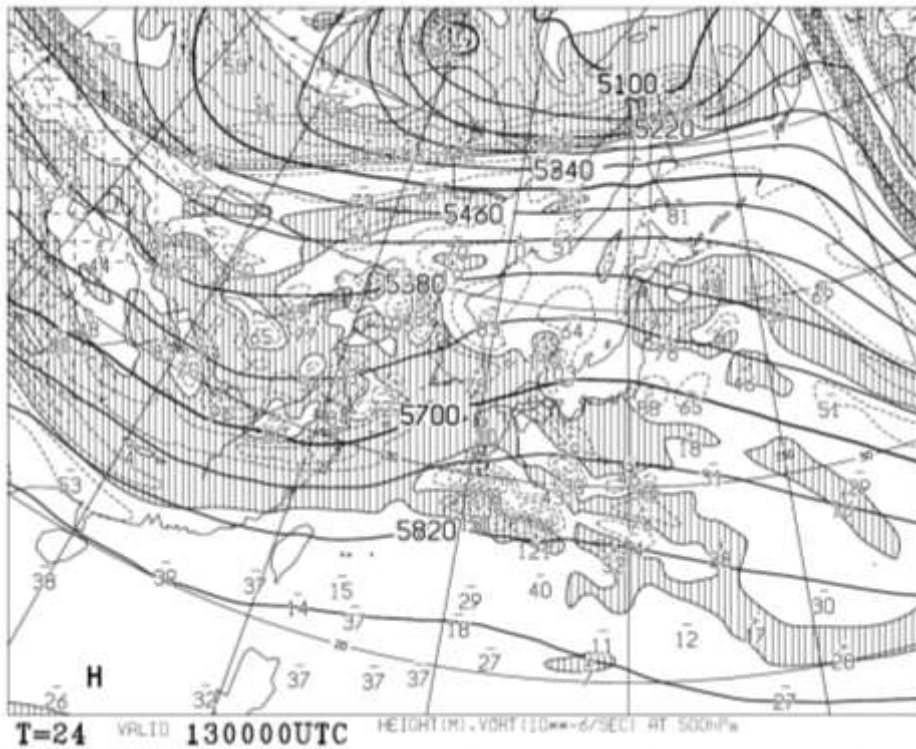


黄河の低気圧が発達し朝鮮半島に東進。サハリン付近の低気圧はさらに東進しとある町では寒冷前線による風向変化に注意。

極東地上気圧・風・降水量／500hPa 高度・渦度予想図（飛行予定時刻：2016/2/13 09:00）

上図—実線：500 hPa 高度 [m]（60 m 毎）、破線：500 hPa 渦度 [$10^{-6}/s$]（ $40 \times 10^{-6}/s$ 毎）、縦網域：500 hPa 渦度 $> 0/s$ （低気圧性循環）

下図—実線：地上気圧 [hPa]（4 hPa 毎）、破線：前 12 時間総降水量 [mm]（10 mm 毎）、矢羽：地上風（旗：50 kt、長線：10 kt、短線：5 kt）

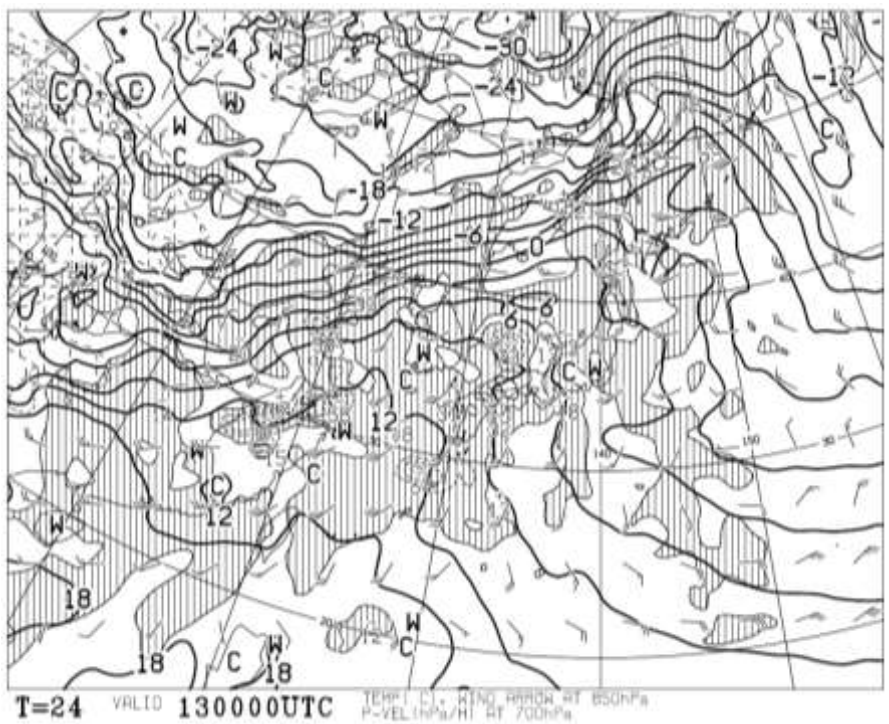
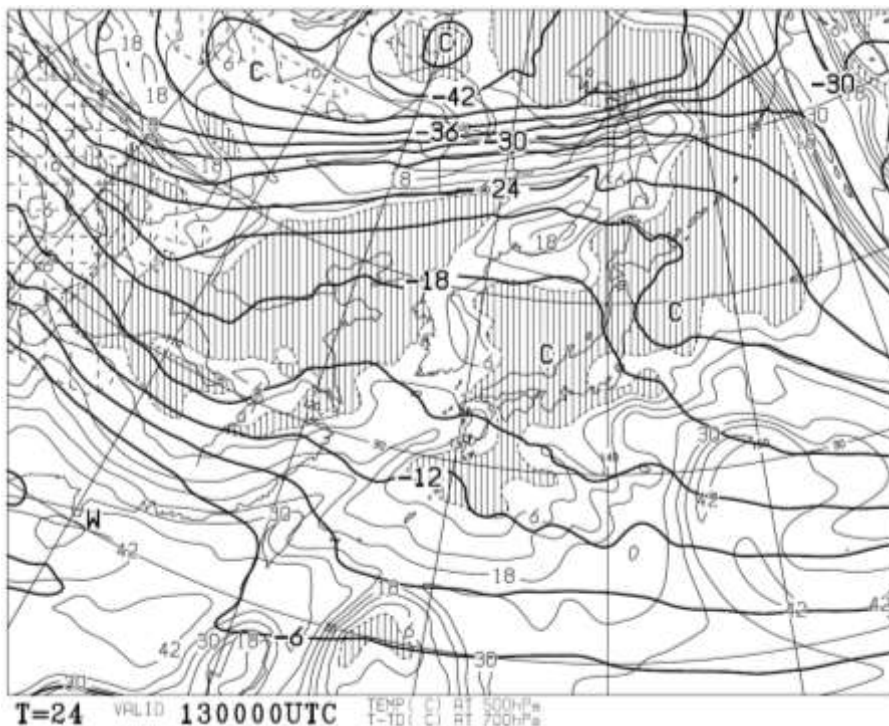


500hPa 渦度 0 の線は第二報より北にあるが、偏西風と地上の西風の相互影響による強い西風に留意。サハリンの低気圧は 500hPa 気圧の谷とから遠く運動していないため発達しないであろう。黄河河口の低気圧の西側 500km の位置に 500hPa 気圧の谷があり、今後の発達に留意する。

極東 850hPa 気温・風、700hPa 上昇流／700hPa 湿数、500hPa 気温予想図（飛行予定時刻：2016/2/13 09:00）

上図—太実線：500 hPa 気温 [°C] (3 °C毎)、細実線：700 hPa 湿数 [°C] (6 °C毎)、縦網域：700 hPa 湿数<3 °C (湿潤)

下図—太実線：850 hPa 気温 [°C] (3 °C毎)、矢羽根：850 hPa 風 (旗：50 kt、長線：10 kt、短線：5 kt)、破線：700 hPa 鉛直 p 速度 [hPa/h] (20 hPa/h 毎)、縦網域：700 hPa 鉛直 p 速度<0 hPa/h (上昇流)



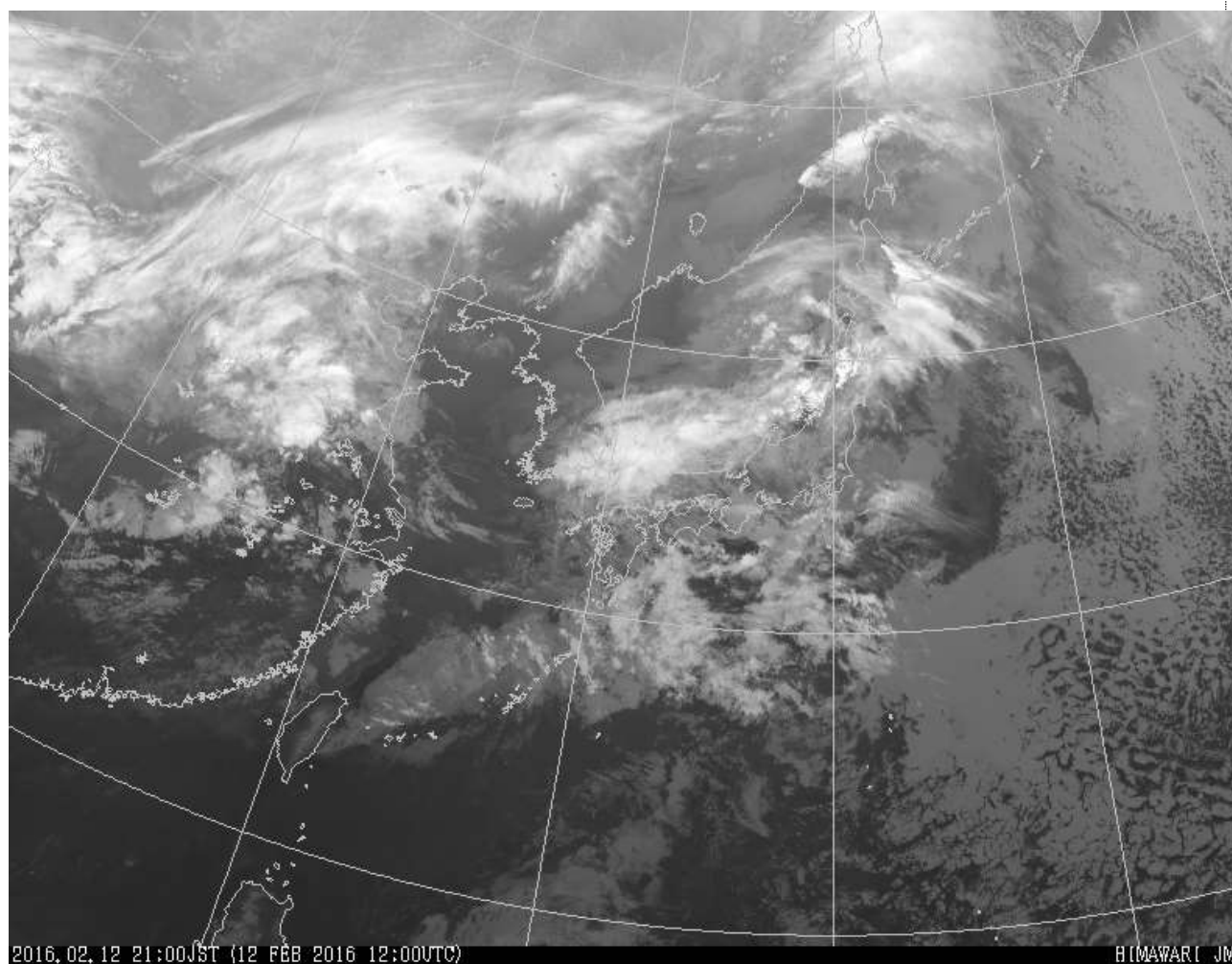
サハリン付近にある低気圧の中心に乾気が入り込んでいることから、今後の発達は大きくない。とあ

JMA：気象庁、WNI：(株) ウェザーニューズ、JWA：(一財) 日本気象協会

経度 1° = 約 111 km、850 hPa = 約 1500 m、700 hPa = 約 3000 m、500 hPa = 約 5500 m、菱網域：高標高域

る町は暖湿気の上昇流域にあるが冬で地表面加熱が小さいため雲は少なく降雨も運航に問題がない程度。

赤外画像（現在時刻：2016/2/12 21:00）



サハリン付近に前線を伴う低気圧がある。寒冷前線と温暖前線に対応する雲がみられる。この低気圧の規模は小さい。とある町上空にみられる濃い白色は上層雲と推定される。

可視画像（現在時刻）

<なし>

（コメント）